

第9回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会
The 9th PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2026年3月14日(土)

会場：Zoom (オンライン)

主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：大阪公立大学

後援：朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、

JSPS San Francisco Office

協賛：一般社団法人 国際教育英語試験協会 (GEET)、公益財団法人 Tazaki 財団

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団、一般財団法人 三菱みらい育成財団



【開催趣旨】

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

【参加校】全 27 校

(山形県) 山形県立東桜学館中学校	(東京都) 筑波大学附属駒場中学校
(茨城県) 東洋大学附属牛久中学校	(東京都) 目黒区立目黒西中学校
(茨城県) 茨城県立勝田中等教育学校	(神奈川県) 栄光学園中学校
(茨城県) 茨城県立太田一高等学校附属中学校	(神奈川県) 聖光学院中学校
(栃木県) 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校	(神奈川県) 洗足学園中学高等学校
(埼玉県) さいたま市立浦和中学校	(神奈川県) 湘南白百合学園中学校
(千葉県) 渋谷教育学園幕張中学校	(長野県) 長野県屋代高等学校附属中学校
(東京都) 品川女子学院中等部	(愛知県) 南山高等学校中学校女子部
(東京都) 東京都立富士中学校	(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校
(東京都) 明治大学付属明治中学校	(兵庫県) 灘中学校
(東京都) 獨協中学高等学校	(広島県) 福山暁の星女子中学校

(東京都) 渋谷教育学園渋谷中学高等学校
(東京都) 東京都立小石川中等教育学校
(東京都) 創価中学校

(徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校
(熊本県) 熊本県立八代中学校

【タイムスケジュール】

09:30 受付	14:30 決勝進出チーム発表、決勝準備
09:50 開会式	14:35 キーノートレクチャー
10:20 ラウンド1	14:50 決勝
11:20 昼食交流会(11:30~12:00)	15:20 表彰式、アンケート
12:10 ラウンド2	15:40 終了
13:20 ラウンド3	

【ご挨拶】

第9回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会へのご参加をありがとうございます。
高等学校の新学習指導要領では、2022年度から英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、活動としてディベートが明記されています。本大会で取り扱うディベートは、授業の50分で完結する形式であり、中学生にとって近い将来役立つ内容です。英語で発信する力のほか、さまざまな論題について多様な視点から考える力を鍛える一助となることを願っています。キーノートレクチャーもお楽しみください。

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事
中川智皓（大阪公立大学工学研究科・准教授）
内閣府 上席科学技術政策フェロー
寝屋川市教育委員

【論題】

- Round 1 Domestic travel is better than traveling abroad for a school trip.
修学旅行は海外より国内の方が良い。
- Round 2 It is better to confess your love through social media than face-to-face.
対面よりもソーシャルメディアで愛を告白する方が良い。
- Round 3 Grade-skipping should be introduced in compulsory education.
義務教育での飛び級を導入すべきである。
- 決勝戦 In the future, people should live with humanoid robots rather than with other humans.
将来は、人間よりもヒューマノイドロボットと暮らす方がよい。

【キーノートスピーカー】

慶應義塾大学経済学部・教授・Path to Science for Girls 副代表 グレーヴァ 香子 氏

【開会式】

開会式では、まず中川代表理事より開会の挨拶があり、ディベートを行う上での留意事項などが説明されました。続く参加校紹介では、生徒たちが元気よく挨拶を返す姿が見られました。その後、全員で POI (Point of Information : 競技中の質疑応答) の練習を行いました。最後に、ルールや注意事項、ジャッジ方法についての説明がなされました。



POI の練習

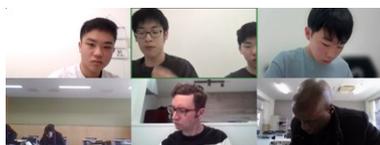


福山暁の星女子中学校の POI 練習

【ラウンド1～ラウンド3】

修学旅行がテーマであるラウンド1では、主に金銭面についての議論が交わされました。告白の方法に関する論題であったラウンド2では、ソーシャルメディア派である肯定側から「対面では緊張して上手く想いを伝えられない」という意見が出た一方、対面派である否定側からは「表情やジェスチャーを交えることでより深く伝わる」という議論が交わされました。また、試合後に行われた告白は対面か SNS どちらがいいかという投票では、90%以上の生徒が「対面での告白」を支持するという興味深い結果となりました。義務教育での飛び級に関する論題であったラウンド3では、学習の効率化や友人関係の構築、さらに塾との比較など、論題に関連する多様な個人を想定した議論が行われました。全体を通して、各ラウンドで POI が活発に行われており、開会式での練習の成果が発揮されていました。試合後の交流の時間にも、多くの笑顔が見られました。

○ラウンド1の様子



聖光 VS 東洋牛久



南山女子 VS 太田第一



渋幕 VS 明治



筑駒 VS 城ノ内



市立浦和 VS 八代



宇都宮東 VS 灘



都立富士 VS 品川女子



小石川 VS 獨協



渋渋 VS 創価

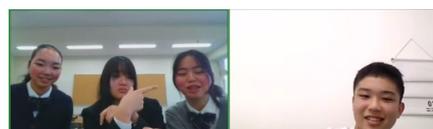


屋代 VS 栄光



聖光 VS 東洋牛久

昼食タイムに交流会を行いました。昼食の内容や何年生かなど、質問を交わしながら交流を楽しんでいました。オンライン開催でしたが、画面越しとは思わないほど仲良く、笑顔で交流しました。



昼食時間の交流会の様子

ラウンド2の開始前に、大阪・神戸駐在米国総領事館広報担当官のワリド・ザファール様による大会参加者への激励のメッセージが送られました。メッセージでは、米国建国250周年を迎える今年、日米関係が170年以上にわたる交流と協力の歴史を築いてきたことに触れ、日本の近代化において英語が果たした役割が紹介されました。「勝敗にとらわれるのではなく、自分のメッセージを世界に届けることを大切にしてほしい」と生徒たちを励まし、健闘を祈る言葉で締めくくられました。



激励のメッセージ

○ラウンド2の様子



灘 VS 屋代



交流の様子 創価 VS 八代

○ラウンド3の様子



「最後のラウンドがんばるぞ〜！オー！」



東洋牛久 VS 目黒西



都立富士 VS 神大附属



太田第一 VS 勝田中等



屋代 VS 洗足



市立浦和 VS 湘南白百合



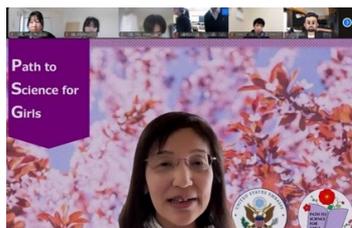
東桜学館 VS 創価



暁の星 VS 栄光

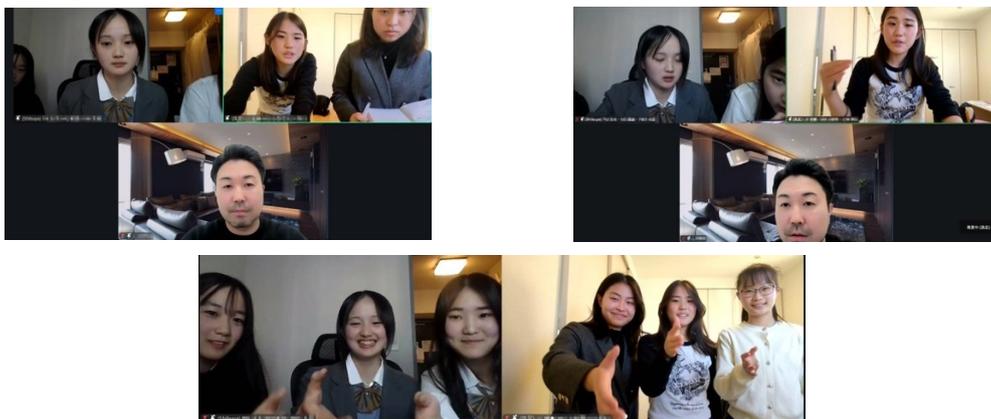
【キーノートレクチャー】

キーノートレクチャーでは、慶應義塾大学経済学部教授であり、Path to Science for Girls 副代表のグレーヴァ香子氏を講師にお迎えしました。講演ではゲーム理論について、レクチャー前に行われたラウンドやディベートへの姿勢と関連づけながら解説されました。クイズを取り入れるなど、生徒への問いかけを交えた参加型のレクチャーとなり、生徒たちは楽しみながら理解を深めていました。



【決勝ラウンド】

決勝戦は、肯定側が渋谷教育学園渋谷中学高等学校、否定側が洗足学園中学高等学校で行われました。論題は、In the future, people should live with humanoid robots rather than with other humans. (将来は、人間よりもヒューマノイドロボットと暮らす方がよい。)でした。ディベート中、POIのやり取りが3回もあり活発な議論となりました。



【表彰式・閉会式】

表彰式では、ベストディベーター賞やベスト POI 賞、チーム賞が発表されました。結果発表の瞬間には、満面の笑みを浮かべる生徒や悔しそうな表情を見せる生徒の姿も見られましたが、最後は皆が達成感に満ちた表情を見せていました。



ベストディベーター賞



ベスト POI 賞

第9回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会結果

〈チーム賞〉

優勝	渋谷教育学園渋谷中学高等学校（東京都）
準優勝	洗足学園中学高等学校（神奈川県）
3位	神戸大学附属中等教育学校（兵庫県）
4位	聖光学院中学校（神奈川県）
5位	渋谷教育学園幕張中学校（千葉県）
6位	筑波大学附属駒場中学校（東京都）
7位	栄光学園中学校（神奈川県）
8位	南山高等学校中学校女子部（愛知県）

〈個人賞〉（★は3回、他は2回）

ベストディベーター賞	ベスト POI 賞
_____さん(栄光)★	_____さん(八代)★
_____さん(品川女子)★	_____さん(明治)★
_____さん(神大附属)	_____さん(灘)
_____さん(屋代)	_____さん(神大附属)
_____さん(洗足)	_____さん(屋代)
_____さん(聖光)	_____さん(聖光)
_____さん(目黒西)	_____さん(栄光)
_____さん(筑駒)	_____さん(筑駒)
_____さん(渋渋)	_____さん(都立富士)
_____さん(渋幕)	_____さん(東洋牛久)
_____さん(勝田)	_____さん(品川女子)

【アンケート（抜粋）】

1. 生徒からの感想

- 交流が多くて楽しかった。(都立富士)
- ディベートでたくさんの学校と話せて楽しかったです。(渋渋)
- 自分たちだけでは出せなかった意見が多く、「目からうろこ」を体験できました。(明治)
- フィードバックがわかりやすく、ジャッジのひとも優しくとても良かった。(品川女子)
- 自チームのメンバーと協力してディベートをしたり、POIなどの戦略を考えるのがとても楽しかった。(勝田)
- 決勝戦を見た際に、積極的にPOIをしている等、深いディスカッションに圧倒されました。(宇都宮東)
- とっても楽しかった。POIも多く取り入れて、活発な議論ができたと思う。全国の中学生の人たちと交流できたのが嬉しかった。もっとパーラを頑張ってもっと深いディベートができればいいなと思った。(市立浦和)
- 学習した英語を実践する事の難しさを実感することができていい経験になってとても良かった(太田第一)
- 色々な学びがあった。これから高校生になりにあたって、この経験を参考にして頑張っていこうと思います。(栄光)
- ディベートのいい経験になりました。(暁の星)
- やっぱり試合でしか得られない楽しさがあるなと思いました。(南山女子)
- 初めて参加してとても英語を話すことが上手で自分ももっと頑張りたいと思った。(八代)
- ディベートなんて、今までほとんどやることがなかったので疲労の極地ですが、色々な方々と交流できたりと、すごくいい経験でした。(創価)
- とってもレベルが高かった。とても良い刺激になったと思う。普段の練習も頑張っていきたい。(城ノ内)
- 本日はこのような大会の機会を設けてくださりありがとうございました。はじめは全国大会ということもあり、とても緊張していましたが、交流会などを通して楽しく貴重な時間になりました。来年も是非参加したいです。改めてありがとうございました！（湘南白百合）
- 初めての参加だったのですが、ジャッチの方も対戦相手の方々も相槌をうちながら聞いたり、拍手をしたりして下さって、とても良い雰囲気でのディベート大会だと感じました。また、決勝戦の様子も見ることができ、とても学びになりました。ありがとうございました。(八代)
- 本大会を通して、ディベート大会に出場している中学生のレベルの高さをすごく実感した。また、自分の英語力には伸び代しかないということがわかった。(太田第一)

- ディベートの知識や論述方法などたくさん学べる大会でした。反省点は多いけどたくさん
の学校の方と交流できたし、チームメイトとも協力できた楽しい大会でした。運営ありが
とうございました！！！！（神大附属）
- 来年も参加させていただきたいと思います。（灘）
- 普段聞かない学校のディベートやお昼の交流などで今まで関わったことのない人たちを知
ることができた。それぞれの学校のディベートの特徴などを知ることができてよかったで
す。（見学）

2. 教員・見学者からの感想

- 他の学校の先生と話せる機会があり、自分ジャッジ初めてだったが、ジャッジに関して
色々教えてもらい学ばせて頂いたから。
- 中学生がたのしくディベートに挑戦できる素晴らしい大会です。
- 子どもたちにとっても教員にとっても、今後のディベート活動の充実に繋がる貴重な機会
でした。企画、運営ありがとうございました。
- 教師としても学びが多い大会でした。
- 運営をはじめ、生徒が安心して大会に臨む準備が施されており、また様々な活動を通して
ディベート競技の普及に取り組んでおられることに、大変感銘を受けました。
- まず中学生の皆さんが概ね、試合の結果を受け入れた上で元気に次のラウンドに臨まれて
いる姿を拝見することができました。

3. キーノートレクチャーについての感想

- すごく面白く、学びになった。（聖光）
- 餡の説明がわかりやすかった。（勝田）
- 確率の話は少し得意なところがあり、とてもおもしろかったです。（創価）
- 興味深いお話を聞くことができ、貴重な経験となりました。（屋代）
- とてもよかったです。今後、物事を考えるときに相手の行動を読んで考える、というのが
役立ちそうです。（明治）
- 面白かった。ディベートにはゲーム理論が重要と言われておられたので、今度学んでみたい
なと思った。（市立浦和）
- ディベートを数学の目線から考えるのが興味深かった。（勝田）
- 考え方のプロセスを学べて大変貴重な機会となりました。（宇都宮東）
- 面白かった。もっとお話を聞きたかった。（教員）
- ゲーム理論自体初めて耳にする生徒に分かりやすい事例を出していただいてありがとうござい
ました。（教員）
- 授業や他の大会でなかった機会だったので聞いてよかったです。（見学）

以上